

開館 1 周年記念 秋の景—日本画・長月から霜月

会 期 2002 年 9 月 14 日(土)～11 月 17 日(日)

開館 1 周年を記念し、近現代の日本画に描かれた秋の情景を紹介した。秋は、穀物が収穫される季節であり、稲作が盛んな日本では、自然の実りを感謝する秋祭りが各地で行われる。春から梅雨、夏にかけての時季が緑を育む季節だとすると、秋は豊穰の季節といえるが、同時に、やがておとずれる冬への寂寥感がたゞよう季節でもある。こうした秋の趣、日ごとに深まる紅葉、黄金や深紅の彩りなどは、古くから絵画の題材に取り入れられ、現在も多くの画家たちの心をとらえている。本展覧会では、以上のような観点をふまえ、それぞれの画家たちが描いた深まりゆく秋の風情を楽しんでもらうとともに、日本画に描かれた秋の情景を紹介した。「秋」という日本に生活する誰もが経験する自然事象を題材とした作品によって、日本画を知らなくとも気軽に鑑賞できる内容とし、月、彩り、実りなど秋のキーワードによる 54 点の作品を展示し、盛況を得た。

会 場 高崎市タワー美術館 (370-0841 高崎市栄町 3-23 電話 027-330-3773)

時 間 午前 10 時～午後 6 時 (入館は午後 5 時 30 分まで)

金曜日のみ午前 10 時～午後 8 時 (入館は午後 7 時 30 分まで)

休 館 日 毎週月曜日 (祝日および県民の日は開館、翌日休館)

会期中の休館日：9/17・24・30、10/7・15・21・29、11/5・11

観 覧 料 一般：500 円 (400 円)、大高生：300 円 (250 円)、中小生：200 円 (150 円)

- ()内は 20 名以上の団体割引料金
- 身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた方、および付き添いの方 1 名、65 歳以上の方、未就学児は無料となります
- 市内に居住する小中学生については、毎週土曜日は無料となります
- 県民の日(10 月 28 日 月曜日)は無料開放となります

主 催 高崎市タワー美術館

後 援 朝日新聞前橋支局、産経新聞前橋支局、上毛新聞社、東京新聞前橋支局、日本経済新聞社前橋支局、毎日新聞前橋支局、読売新聞前橋支局、NHK 前橋放送局、群馬テレビ、エフエム群馬、ラジオ高崎

企 画 協 力 山種グループ